

金沢大学の齋藤教授が酒田港を視察されました

11月16日（木）、金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系の齋藤武久教授が、酒田港を視察されました。初めに酒田港の概要説明と意見交換を行った後、フローティングドック（FD）ケーソン製作現場、高砂埠頭の岸壁延伸工事現場、今年8月に初めて外国船籍のクルーズ船が寄港した古湊岸壁などを視察されました。齋藤教授は酒田市出身で、大学での専門分野が海岸・海洋工学であることから、酒田港を取り巻く情勢や港湾整備の状況について多くの質問をされるとともに、工事現場も熱心に視察されました。



事務所にて概要説明



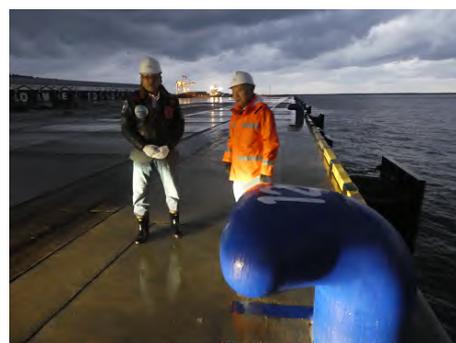
酒田北港緑地展望台で酒田港を一望



ケーソン製作現場を視察（FD）



高砂埠頭の岸壁延伸
工事現場を視察



古湊岸壁を視察

